

こども

子供のインターネットバイブル

あんない

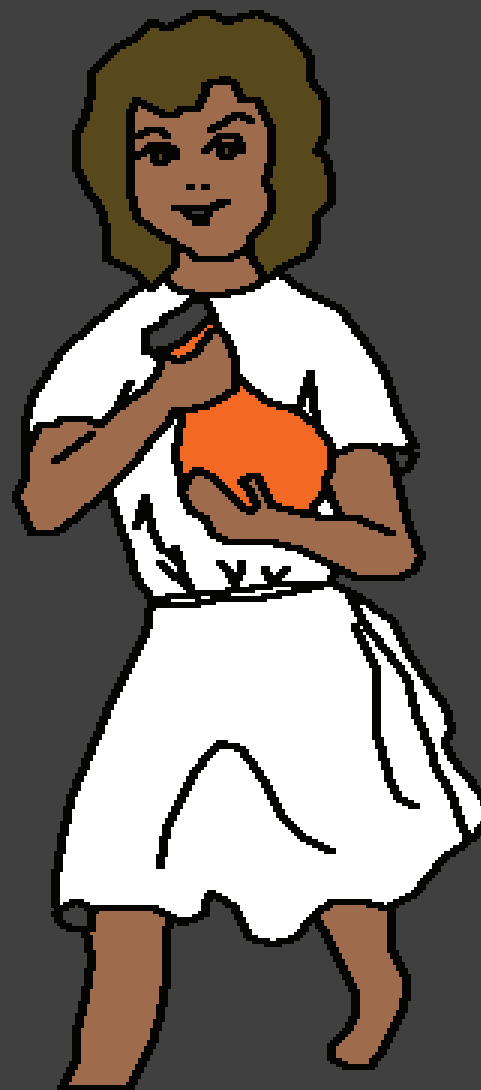
案内いたします

かみ

神さまに仕える

しょうねん

少年サムエル



ぶん
文: Edward Hughes

え
絵: Janie Forest

かいさくしゃ
改作者: Lyn Doerksen

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick

しゅつぱんしゃ
出版社: Bible for Children
www.M1914.org

©2010 Bible for Children, Inc.

きよか たにん う かぎ はなし
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、
また きよか
又はプリントは、許可されています。



こころ おんな ひと
ハンナという、とても心やさしい女の人がいまし
おっと よ ひと

たよ。その夫エルカナも、ほんとうに良い人でした。

ふたり かみ れいはい

2人とも神さまを礼拝し、
ひと

ほかの人にもやさしく
くしんせつでした。
でもね、ハンナは、
なぜかさびしそう。

なに おも

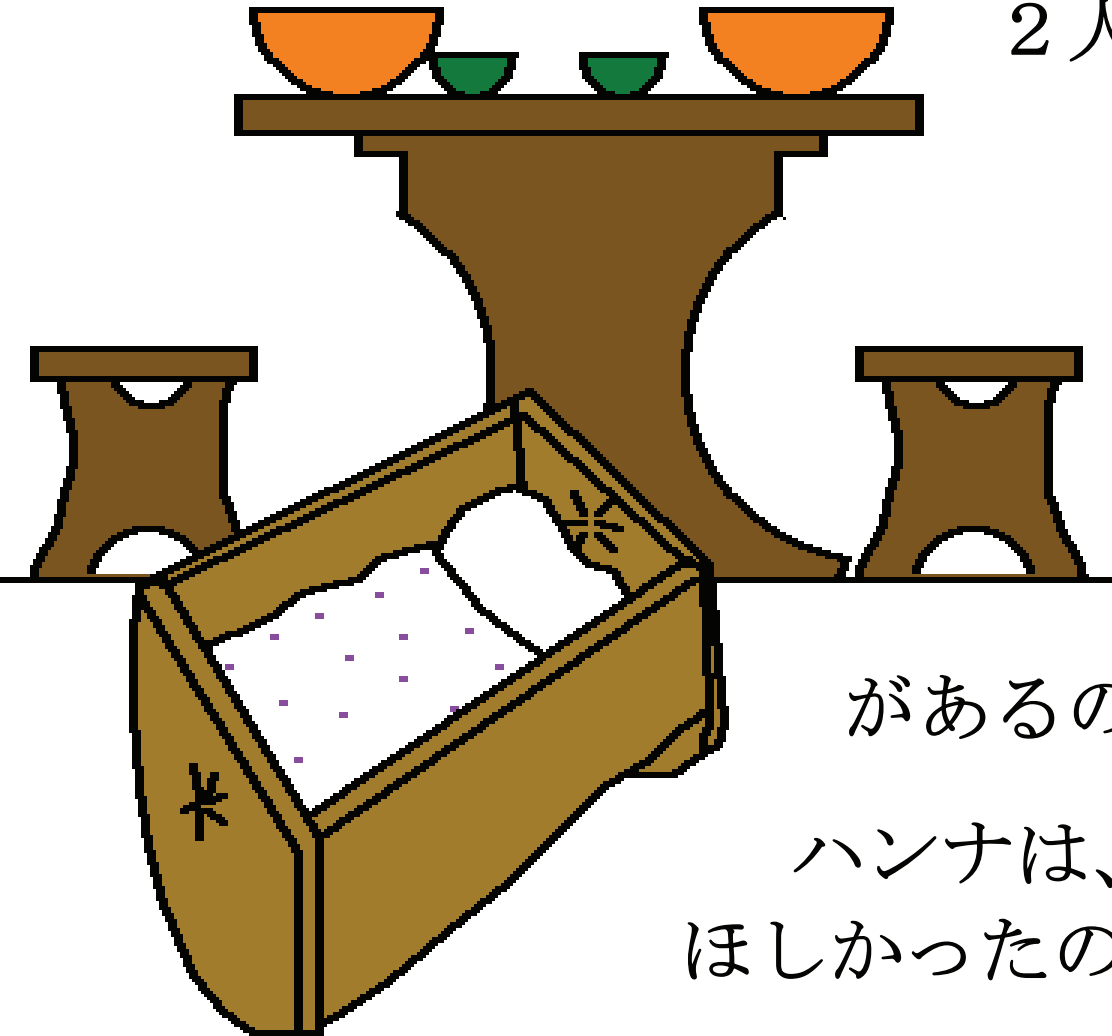
何か思っていること

があるのでしょいか。じつは、

あか

ハンナは、赤ちゃんが

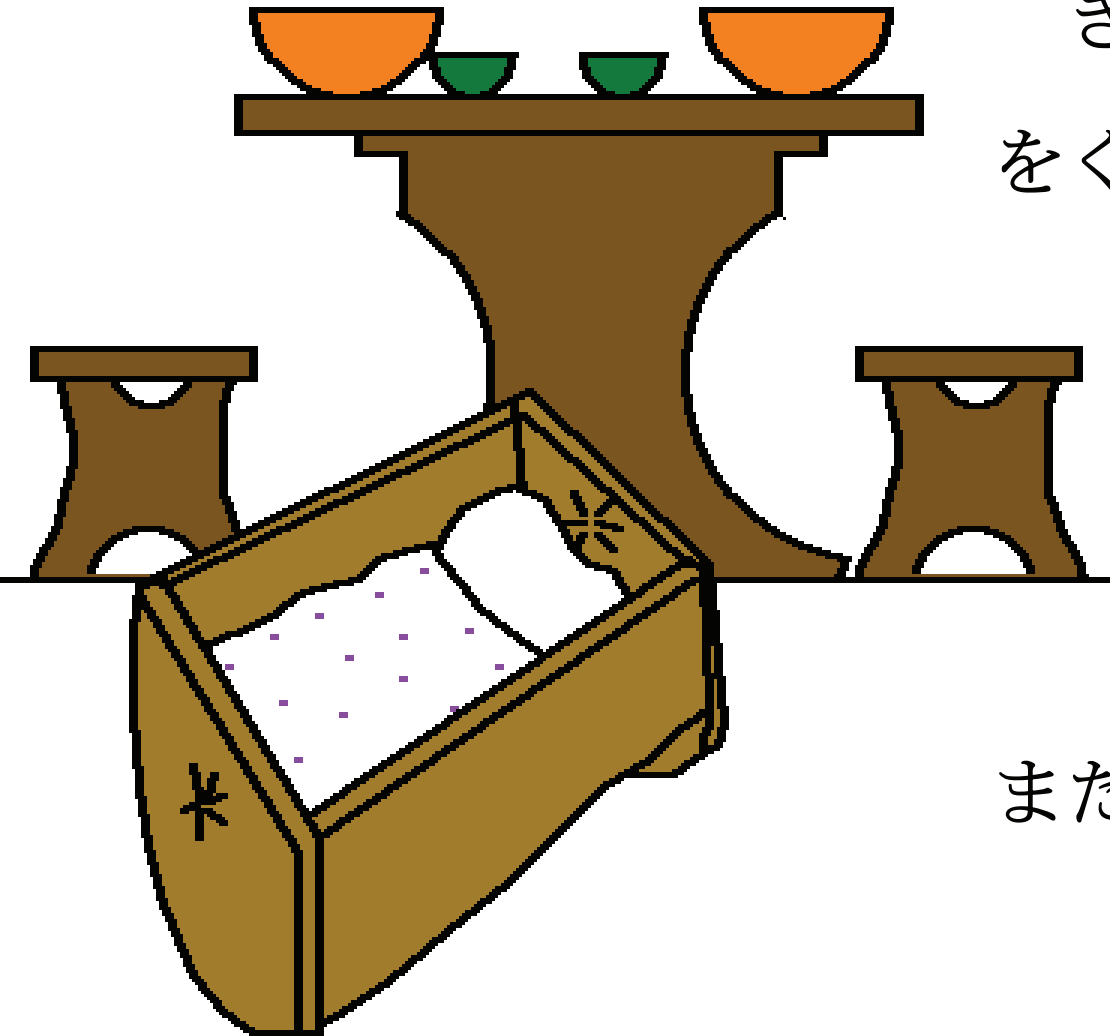
ほしかったのです。



じよ あか
かの女は、どれほど赤ちゃんがほしかったこと
いでしょ。まいにち祈りながら待ちましたよ。

かみ あか
きっと神さまが赤ちゃん
おも
をくださるだろうと思い、
たくさんたく
いの
さん祈って、
ま
待ちつづけました。

かみ
でも、神さまは、
まだくださらないのです。





とし かみ
まい年、ハンナは神
れいはいどう

さまの礼拝堂へ、
れいはい い
礼拝に行きました。

とし かみ
ある年のこと、ハンナは神

いの
さまに祈り、こうやくそくしました。

かみ おとこ こ
「神さま、もし男の子をくださる
こ

のなら、わたしはその子をいつ

かみ つか
までも神に仕えるものして、

だ
さし出すでしょう。」





れいはいどう

その礼拝堂に、

とし

もう年をとっている

さいし

エリという祭司がい

ました。かれは、

いの

ハンナが祈っ

ているようすを

み

おも

見てこう思い

ましたよ。





きっとハンナはぶどう
しゅ
酒をのみすぎたにちが
じょ くち
いない。かの女の口び
るは、ずっとうごいている
こえ
のに、声はぜんぜ
き
ん聞こえてこな
いじゃないか。
そこで、エリ
はハンナを
しかりま
した。





「いいえ、
ちがうのです。

さけ

わたしはお酒をの
んではいません。」

ハンナは、

い

エリにこう言いました。

「わたしは、

こ

どうしても子ども
がほしいのです。





ですから、
もしくださったら、
かみ こ
神にその子をささ
げるとやくそくを
していたのです。」

き
それを聞いたエリは、
へいあん あた
「どうぞ平安が与えら
れますように。」





い
と言って、ハンナ
をはげましました。

「ハンナよ、
かみ

イスラエルの神さまは、
き

きっとあなたのねがいを聞
い

き入れてくださるだろう。」

き

これを聞いたハンナ、
ほんとうにうれしく
なりましたよ。



あと

そのすぐ後のことです。

ハンナはほんとうにうれしそうです。

しゅ じょ

なぜってね、主がかの女をおぼえていてくださり、

祈りにこたえられたのです。とうとう、

ハンナとエルカナにサムエル

おとこ

というかわいい男の

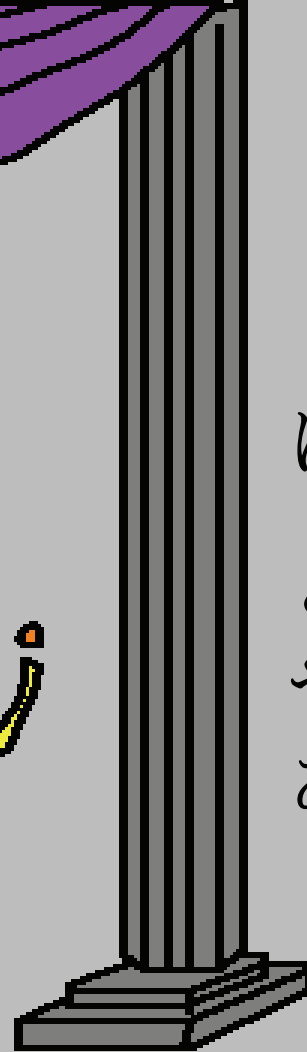
こ う

子が生まれたのです。



サムエルというのは、^{かみ}「神にかなえられた」
^{いみ}という意味ですよ。でも、ハンナは、^{しゅ}主とやくそくした
たことを、まだおぼえているでしょうか。
ちょっとしんぱいですね。





とし
じつは、まい年、
かみ れいはいどう れいはい
神さまの礼拝堂に礼拝
い
に行っていたハンナが、
い
どういうわけか行くのを
やめてしまったのです。
ああ、どうしましょう。

かみ
ハンナはやっぱり神
さまとのやくそくを
やぶってしまうつもりでしょうか。
いいえ、
しんぱいしなくてもいいのですよ。





ハンナは、ただサ
すこ おお
ムエルが少し大きくな
なるのを、まって
いただけなのです。

しゅ れいはいどう い
主の礼拝堂へ行って、
てつだ

エリのお手伝いをして、
かみ つか
神さまに仕えられ
おお

るぐらい大きくな
るまでね。だから、

すこ おお
サムエルが少し大きくなると、ちゃ

れいはいどう
んと礼拝堂へつれていきましたよ。





かみ

神さまは、ハン

こころ

かみ

ナが心から神

しん

を信じ、したがっ

ていることをたい

そうよろこばれ、

さんにな

それからも3人のむ

ふたり

すこと2人のむすめ

をくださいました。





もちろん、ハンナ

とし かみ

はまい年、神さ

れいはいどう れいはい

まの礼拝堂に礼拝
にいきましたよ。

れいはいどう

そして礼拝堂へ

い

行きたびに、

サムエルのために

ふく づく

あたらしい服を作り

も

持っていました。





ひとり てつだ
サムエルは、ただ1人でエリのお手伝
いをしていたわけじゃないのです。
エリには、ホフニとビネハスという
ふたり
2人のむすこがいました。





てつだ
かれらもまた、エリのお手伝いをして、
サムエルといっしょにはたらいていま
かみ
した。けれども、かれらは「神さまな
んかどうでもいいよ。」

い
と言って、
よくないことばかり
していました。





とう ふたり かみ
お父さんのエリが、2人に神さまに
したがうようにたのんだとき
き
でさえも、聞こうともしないで、
わる
やっぱり悪いことばかり
していました。





で い
エリはむすこたちに、「出て行っ
ておくれ。もうおまえたちは、
ここではたらくことはできない。」
い
ときっぱり言うべきだったのですね。
い
でもエリはそう言わ
なかったのです。





よる
ある夜のことで
サムエルはどこからか
「サムエル、サムエル」
じぶん なまえ よ
と自分の名前を呼んでい
こえ き
る声が聞こえてきました。
よ
「きっとエリがぼくを呼
んでいるんだ。」
おも
と思ったサムエルは、
「ぼくはここにいます
よ。」とへんじ
をしました。





ところが、
「サムエル、
わたしは、おまえを
よ
呼んでいないよ。」

^い
とエリはこう言う

^{おな}
のです。同じことが
^{さんかい}

3回もありましたよ。

そのとき、
エリはわかりました。





かみ

神さまが、

よ

サムエルを呼ば
れているのだと。

かみ

そして、神さまは、

なに

サムエルに何か

はな

話そうとされて
いることがね。





い
エリは、言いました。
「サムエル、もし、

なまえ

もういちど名前

よ

を呼ばれたら、

い

こう言うんだよ。

しゅ

はい、主よ、

話してください。

あなたのしもべは

ここにおります、

ってね。」





さて、
それからまた、
「サムエル、
サムエル」
こえ き
って声が聞こえてき
ました。
そしてそこで、
かみ
神さまは、
サムエルにとて
たいせつ
も大切なことを、
はな
話されたのです。



ひ あさ よ
つぎの日の朝、エリはサムエルを呼んで、たずねまし
た。「さあ、話しておくれ。主はおまえにいったい

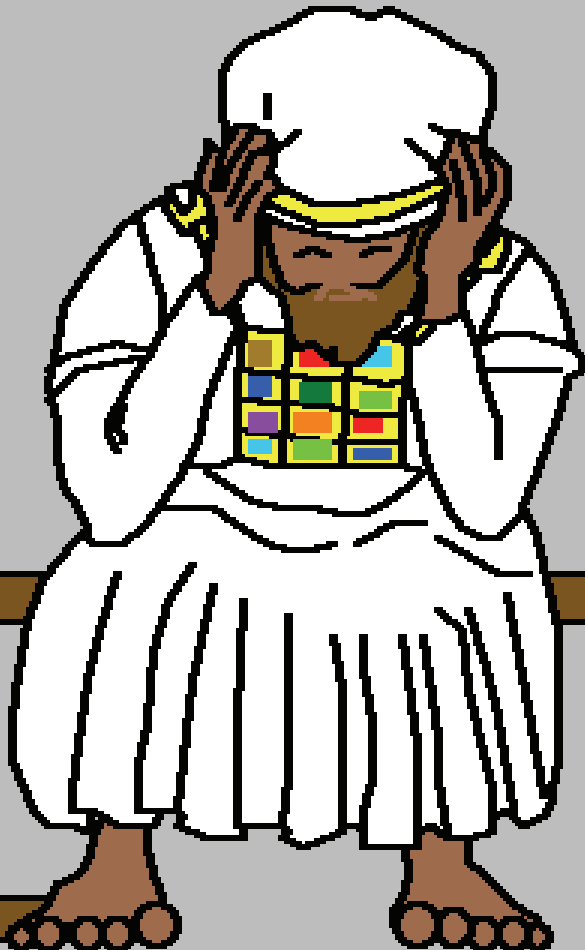
なに はな しゅ
何を話されたのかね？」それは、

よ はなし
エリにとって良くない話だっ

こ
たのです。でもまだ子ども

かみ
のサムエルは、神さま

はな
が話されたとおり、
すべてエリにつ
たえたのです。



それは、エリにとってひどく悪い話でした。神さま
は、こういわれたのです。「わたしは、エリの家族の
人たちみんなほろぼしてしまうだ
ろう。なぜなら、エリのむすこ、
ホフニとビネハスがあまりにも
ひどすぎるからだ。」



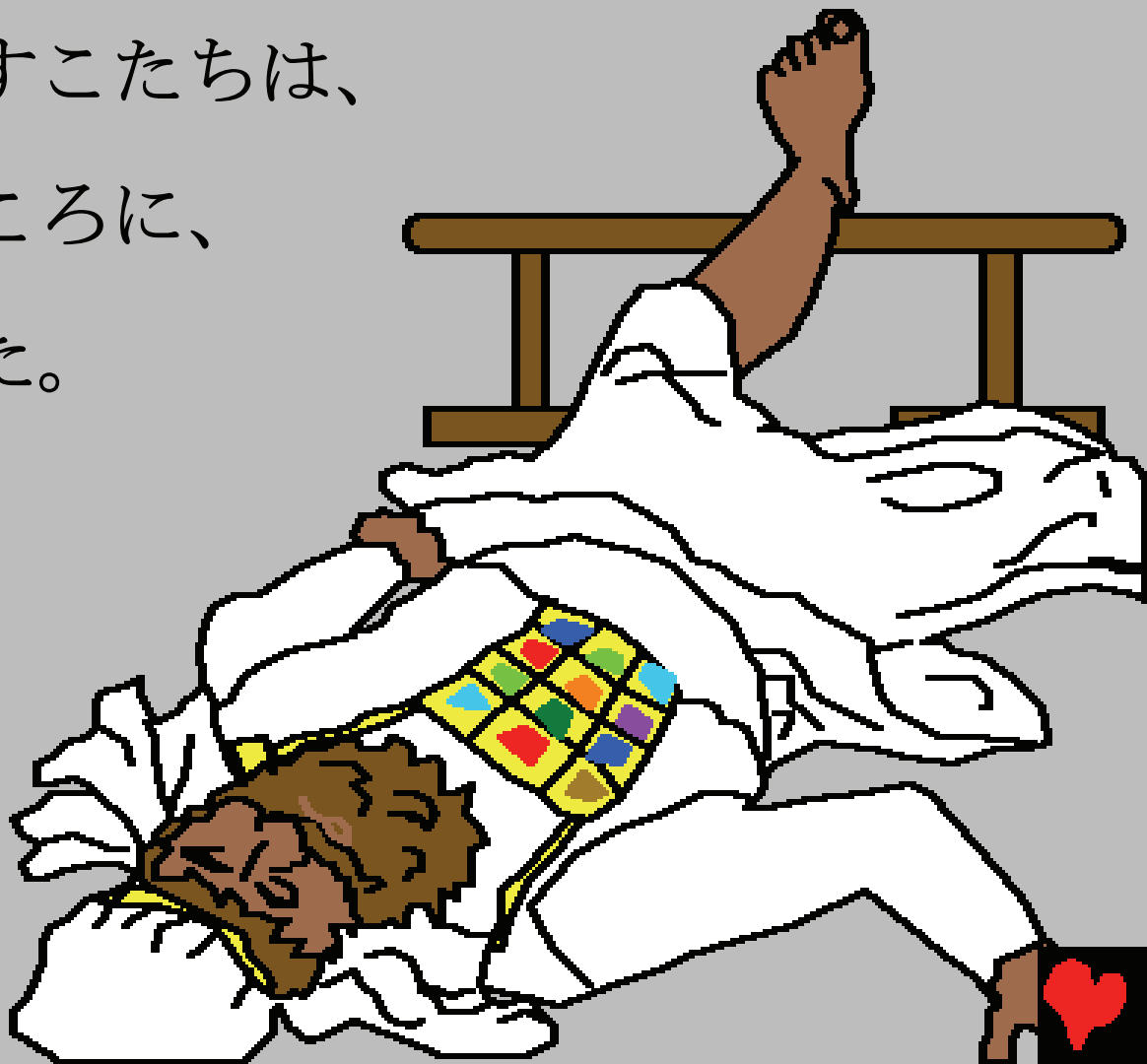
かみ い
神さまの言われたことは、やっぱりほんとうでした。

じん たたか
ペリシテ人との戦いのあいだ、

ふたり わる
エリの2人の悪いむすこたちは、

ぐん
イスラエルの軍のところに、

かみ はこ
神の箱をはこびました。



てき じん かみ はこ
ところが、敵であるペリシテ人は、その神の箱をかれ

と
らからうばい取り、それにまたたくさんのイスラエル

じん ころ
人も殺したのです。もちろんホフニとビネ

ころ
ハスも、このとき殺されてしま

き
いました。これを聞いたエリは、
ほんとうにがっくりとしました。

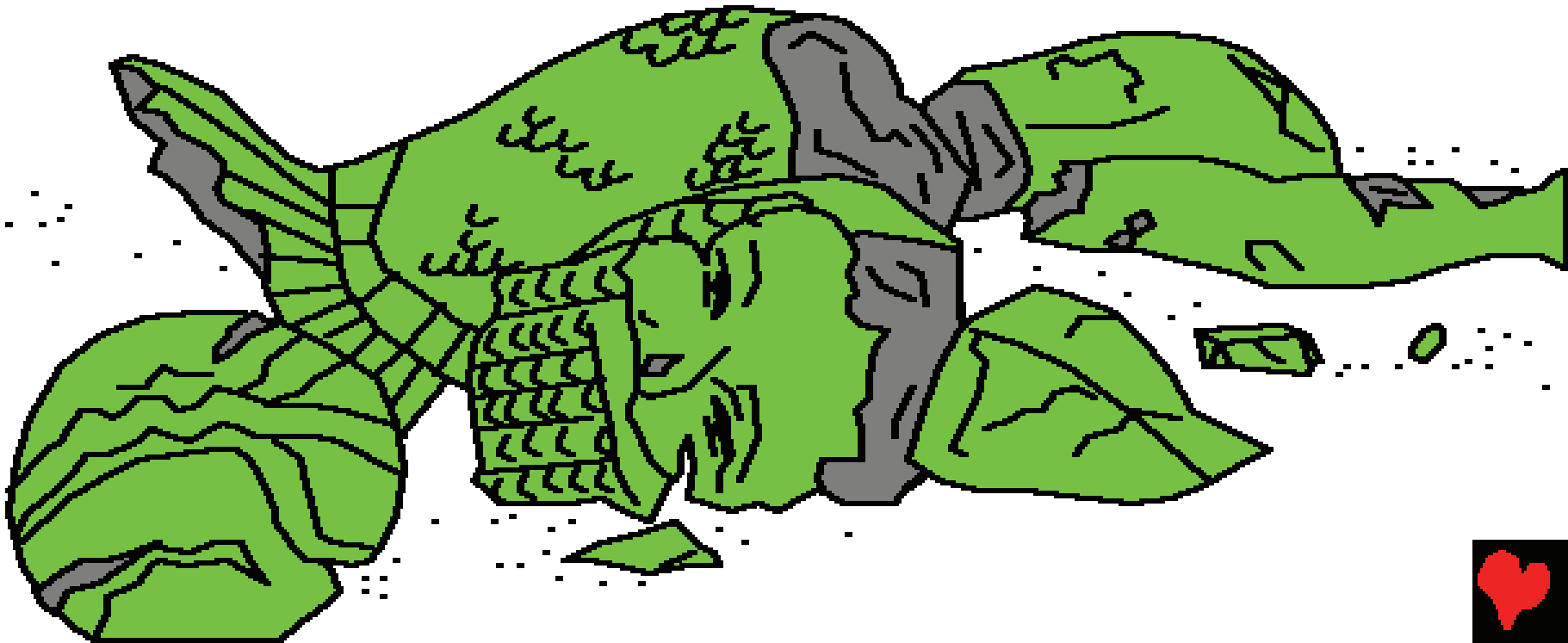
お
かれは、イスから落ちて、

くび お
首を折りとうとうそ

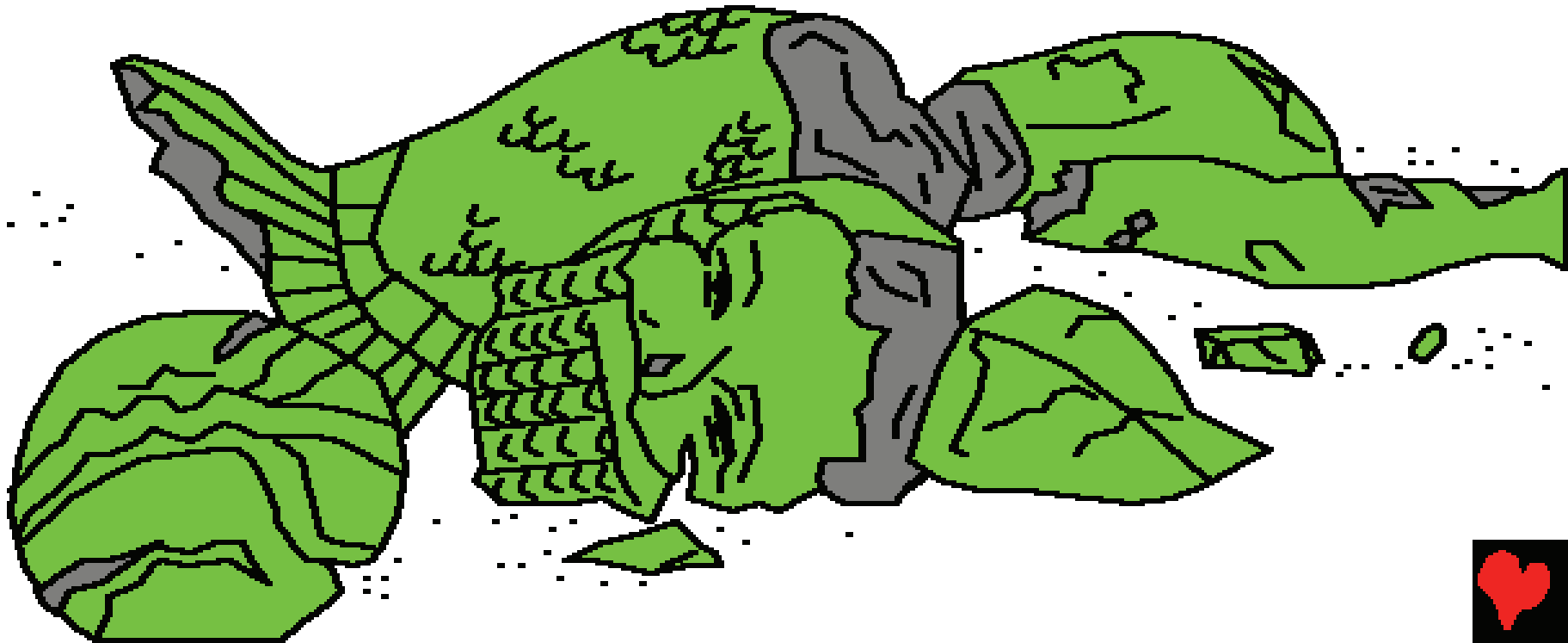
な
の日のうちに亡く
なったのです。



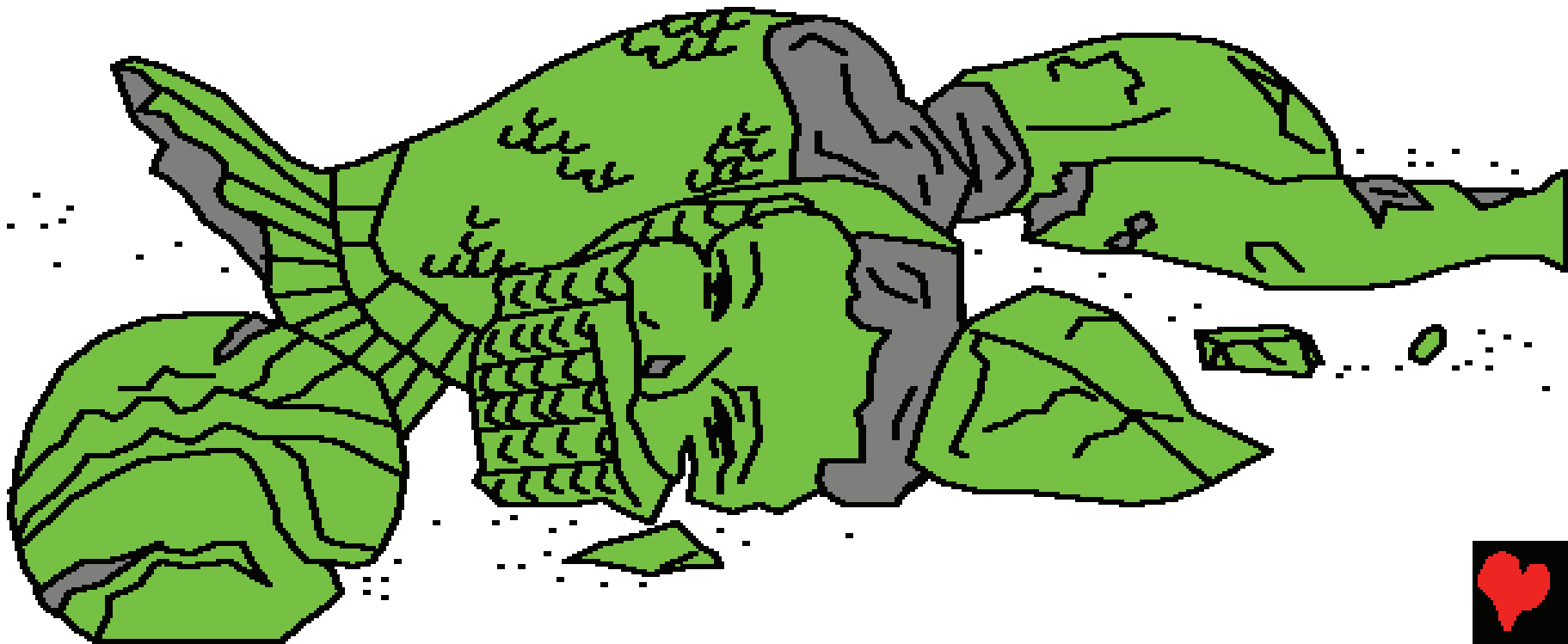
かみ はこ じん
神さまの箱をもちかえったペリシテ人は、
それからというもののいろいろな悪いことがおこる
ようになりました。かれらは、その神さまの箱を、
にせの神タゴンの神でんに、はこんだのですが・・・。

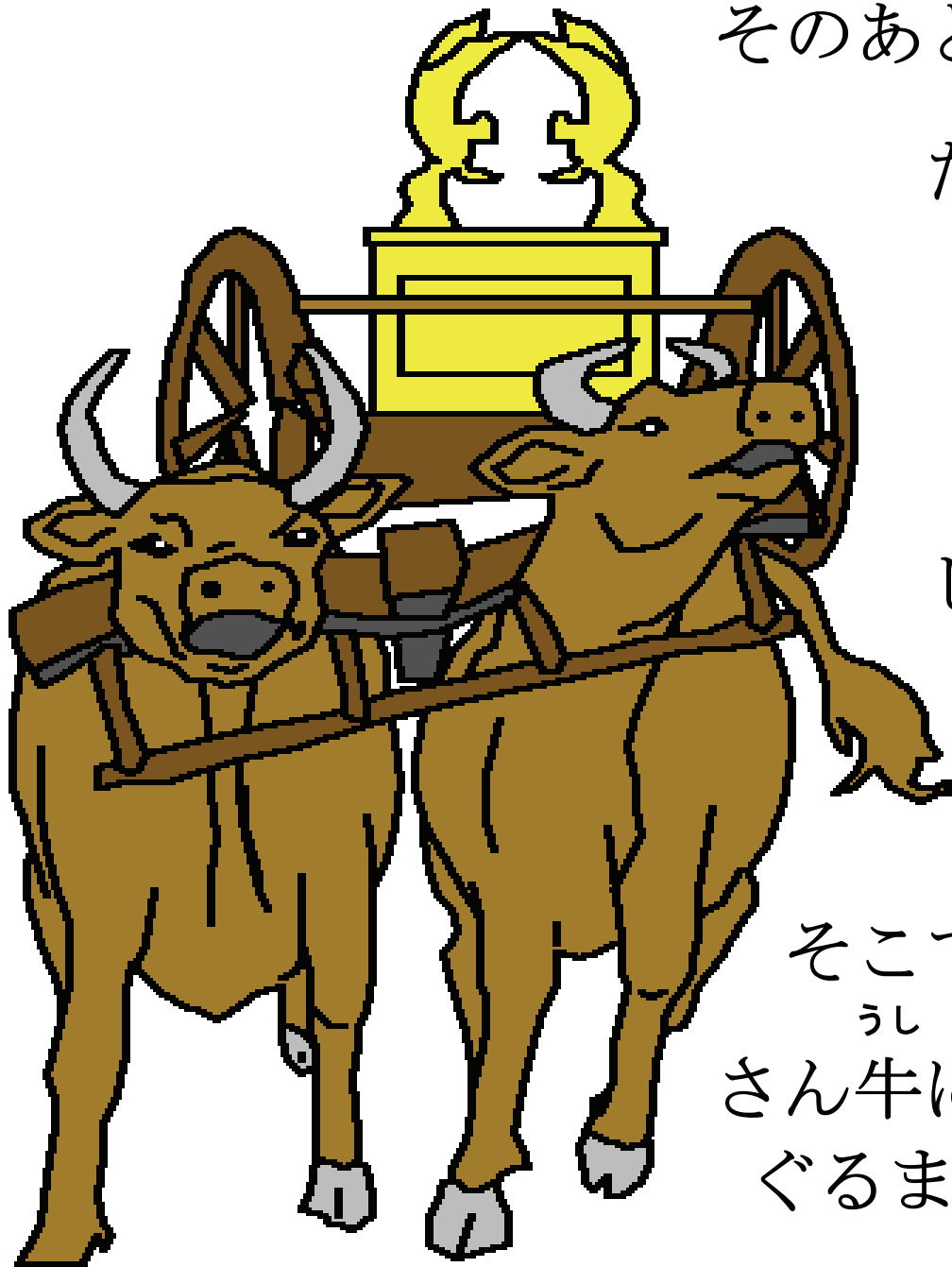


ひ あさ かみ お
つぎの日の朝、にせの神タゴンが、うつむきに落ちて
たおれているのです。「どうしたことだろう。」
と人々は、タゴンをもとのところにおきました。
ひ あさ
ところが、そのつぎの日の朝です。



お
タゴンがまた落ちて^おいるのです。ひどいことに、
こんどはあたまも、手も足も、そしてどう体も、
みんなばらばらになって^ていましたよ。^{あし} ^{たい}





びょうき ひろ
そのあと、ひどい病気が広がり、

し ひと
だんだん死ぬ人がふえてき

じん
ました。ペリシテ人は、

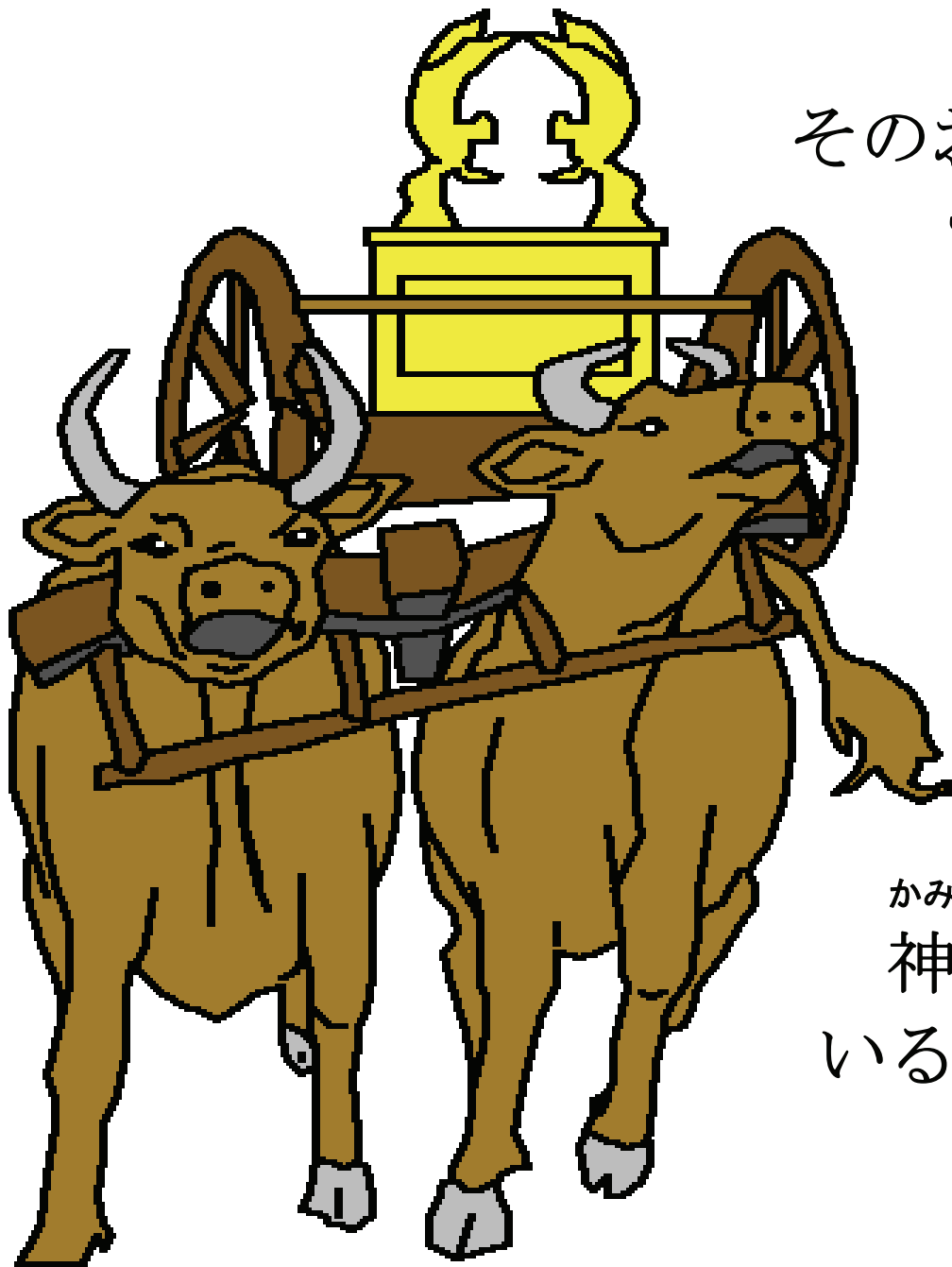
おも
こう思いました。もしか

かみ じぶん
して、神さまが自分たちに

あた
ばつを与えられている
のかもしれないって。

に かあ
そこで、かれらは2とうのお母
うし かみ はこ に
さん牛に、神さまの箱をのせた荷
ぐるまをはこばせましたよ。





でもね、

かあ うし こうし

そのお母さん牛の子牛たちは、
うちにおいておきました。

もし、ここで

かあ うし

母さん牛たちが、

まっすぐイスラエルに

む こうし

向かい子牛のところ

い

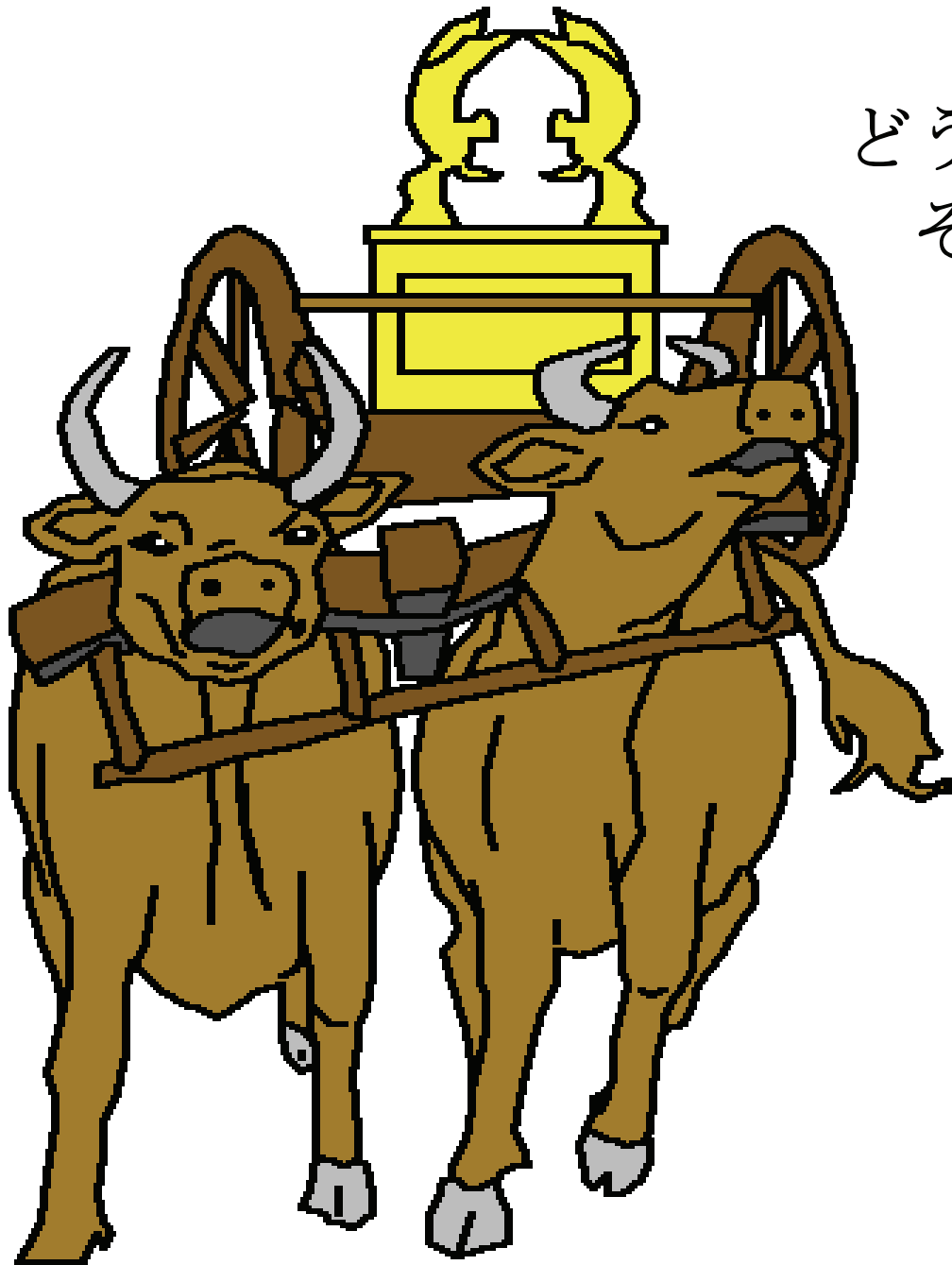
をはなれて行くのなら、

かみ

あた

神さまがばつを与えられて
いるということなのです。

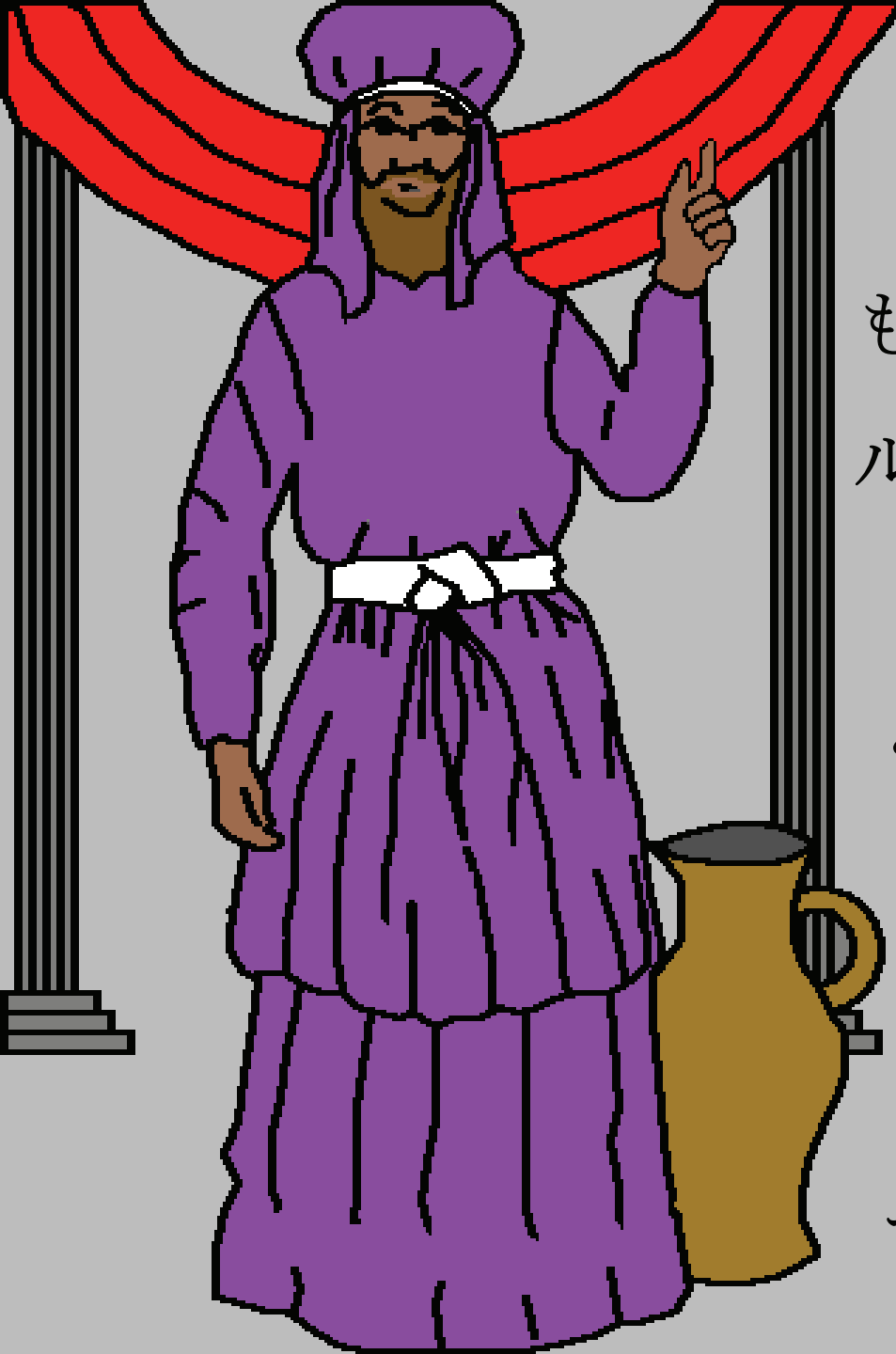




かあ うし
さあ、お母さん牛は、
どうすすんだのでしょうか。
そう、まっすぐまっすぐ、
イスラエルに向
かいましたよ。

けっ
決してまがらずにね。





さて、そのころサムエル
はどうしていたでしょう。

おとな

もう大人になっていたサムエ

ひとびと

ルは、イスラエルの人々にこ

い

う言いました。「もし、

こころ

みなさんが、心から主を信

しゆ

かえ

じ、主のもとに帰るなら、

しゆ

主はわたしたちをペリシ

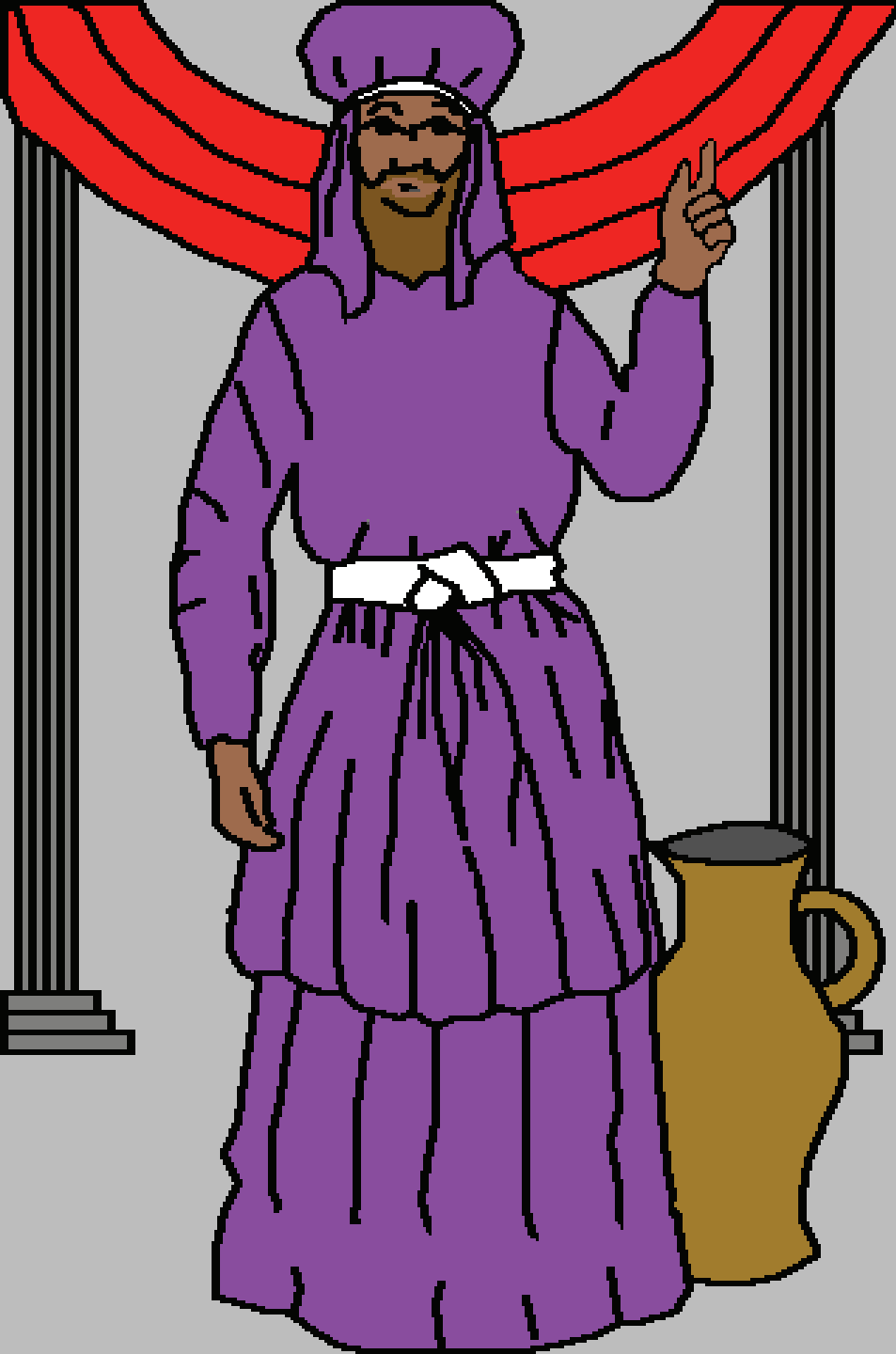
じん

しはい

すく

テ人の支配から、救いだし
てくださるでしょう。」





ひとびと

人々はみんな、

かみ

つか

かみ

いつも神さまに仕え神さま

つた

のことばを伝えるサムエル

しん

を信じ、そのことばにした
がうようになりました。

かみ

だからね、それから神さ

まはいつでもサムエル

がいるイスラエルを、

じん

まも

ペリシテ人から守って

くださいましたよ。



かみ しょうねん
神さまに仕える少年サムエル

かみ み せいしょ しる
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

きじょう しょう しょう
サムエル記上 1 章 - 7 章

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまに
かみ かみ
ついて、おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことを
おも
しってほしいと、思っています。

かみ わたし
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しってい
かみ つみ つみ
らっしゃいます。それを、神さまは、罪とよばれています。その罪の
し かみ あい
むくい、死です。けれども、神さまは、あなたをととても愛してい
ひとり こ よ おく
らっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、この世に送って
つみ じゅうじかじょう な
くださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられ
てんごく
たのです。けれどもそれから、イエスさまはよみがえられ、天国のい
しん
えへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさまを信じ、ゆる
してくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてください
いま ところ き なか
ます！イエスさまは、今、あなたの所へ来て、あなたのこころの中に
す い
住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさまといっしょに生
きることができますよ。



もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言っ
てください。

愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人とな
り、私たちの罪のために亡くなってくださいました。そして、よみ
がえって、いま生きて

いらっしゃいます。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるして
ください。それで、私は今、あたらしい命をいただけます。そし
て、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにい
ることができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子とし
て生きることができますよう、たすけてください。アーメン

まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによ

る福音書 3 : 16

